

RFID World Watcher Monthly

April 2017

目次

RFID 関連ニュース	3
プロダクト	3
ソリューション	4
企業・規制・標準化・レポート	5

RFID 関連ニュース

プロダクト

[ハードウェア]

物流ベンチャー企業の **Shotput** 社は **RFID** を利用した飲料の無人配送拠点を開発した。この拠点は海上コンテナ程度の大きさで、内部は冷蔵の無人倉庫でロボットが配備されている。利用者が飲料の発注をすると最寄りの配送拠点に指示が飛び、ロボットが **RFID** を利用して出荷する品物を用意、ピックアップの指示が **UberEats** や **Instacart** などのサービス経由で行われて、注文者の元に品物が配送される。大手飲料会社が同社の製品をテキサス州オースティンでトライアルを実施することが決定している。

アメリカの IT ベンダー **Suncrest Solutions** 社は **EZ-RFID** 社の **LED** ライト付き **RFID** タグを使ったピックアップソリューションを薬局向けに販売している。このソリューションは、薬局で患者に出す薬を入れたビニール袋に **LED** ライト付き **RFID** タグを同梱し、ピックアップ時に **RFID** リーダーが信号を発すると **LED** が発光するというもの。既存のバッグや棚を生かしたまま **LED** ライト付き **RFID** タグを同梱すればよいので低いコストで利用することができる。

大日本印刷はコンクリートのひび割れを検出するための **RFID** タグを開発した。このタグはコンクリートの表面に張り付けて利用するもので、ひび割れが発生するとアンテナのパターン回路が切れることで検出が可能になる。このタグは複数の建設会社がトライアル中。

ベンチャー企業の **ThreadRobe** 社は家庭向けの **RFID** 対応衣装棚の開発を進めている。この衣装棚は **RFID** リーダーとロボットアーム、スチーマーに対応しており、棚の下に選択を済ませた衣類を入れるとロボットアームが自動的にハンガーにかけて衣類の **RFID** タグを読み取って位置を記憶する。スマホから特定の衣類の取り出しを支持すると該当のハンガーがピックアップされ、スチームがけされて取り出しエリアに移動される。利用している **RFID** 技術は **UHF** パッシブ。

Feig 社は車両入退場管理システム向けの **UHF RFID** リーダーの新製品 **LRU1002** を発表した。このリーダーは既存の入退場管理システムのインタフェースに準拠しており直接接続することが可能になっているほか、**USB** メモリに書き込んだ設定を読み取らせることで設定作業の手間を削減している。

[ソフトウェア]

Servicemax 社と PTC 社は共同で機材の遠隔監視サービス **Connected Field Service** を提供している。このサービスは機材の異常やその予兆を検出し、衛星通信や LoRa、WiFi、RFID など様々な通信手段で通知を行う。顧客企業の代表的な業種は電力会社、エネルギー会社、製造業など。

ソリューション

[パッシブ・NFC]

イタリアのシューズ小売り **Store of the Future** では RFID を利用した顧客サービスを提供している。同社のフィレンツェの店舗では靴に UHF タグを貼付し、試着エリアにリーダーと壁に埋め込んだタブレットを設置、顧客がエリアに持ち込んだ靴のタグを読み込んで在庫情報やマーケティング記事をタブレットに表示し、タブレットから購入ができるようにする。試着エリアは壁のないベンチのような場所なので、一つのベンチに 16 個のリーダーを出力を絞って内蔵するなどの工夫をしている。

コロラド州のリゾート施設 **Great Wolf Resorts** では NFC リストバンドを用いて売店の支払いやロッカーの開閉を行っている。導入したのは PDC 社の **Mifare Ultralight** 準拠の製品。

ブラジルの個人用保護具(PPE)メーカー **Leal** 社は RFID によって顧客への納品に要する時間を 20 パーセント削減した。同社の取扱品目は倉庫の容積に比べて多く、必要な品物を間違いなく取り扱うためには多くの手間と時間がかかっていた。RFID を導入して在庫管理を行うことでこの手間が解消された。

[アクティブ・RTLS・ビーコン]

ポーランドの食品スーパーチェーン **Eurocash** 社は RFID を用いて冷蔵食品のトレーサビリティ管理を行っている。同社が導入したのは **Blulog** 社の製品で、UHF アクティブのワイヤレス温度センサーによって温度の記録を作成する。

ドミノピザのフランチャイズ店を 70 店舗手がける **Mar Pizza** 社は **ZigBee** を使ったワイヤレスセンサーで商品の温度管理を行っている。ソリューションを導入したのは **Unified Office** 社で、ドアの開閉情報や移動情報と紐づいた温度情報を各店舗から吸い上げてクラウドで一括管理することで、異常の検出や監査用のレポートの作成を迅速に行えるようにな

った。

フィンランドの廃棄物真空配送設備メーカーMariMatic Oy社は、RFIDによる利用者認証で契約者のみが廃棄物の投入を行う仕組みを提供している。同社はRFIDタグ内蔵のキーホルダー(LFやMifareなど規格は導入地域ごとに異なる)を利用者に配布し、それを投入口にタッチすることで投入口が自動的に開く仕組み。

医療機材メーカーのMotus社は外回り営業員の車両走行手当を自動的に計算するためにBluetoothビーコンを利用している。同社はスマホ向けにGPSを利用した移動距離計算用のアプリを作成して営業員に利用させている、GPSによる電源消費を抑えるため、社用車にBluetoothビーコンを設置してビーコン受信中のみGPSを動作させるようにした。また、ビーコンの利用により、営業員が車両に乗車しているかどうかを確認できるようになった。

企業・規制・標準化・レポート

産業向け自動認識技術大手のTurck社はU Grok It社を買収した。U Grok It社の代表製品はヘッドフォン端子に接続するタイプのタブレット/スマートフォン向けUHFパッシブリーダー。

Zebra Technologies社のブラジル法人が行った調査によると、世界の小売業の7割がIoT技術の導入を計画している。導入目的としては65%が在庫管理、80%が顧客状況に応じた情報提供、78%がe-コマースとの統合が挙げられている。

RFIDベンダーのSML RFID社の調査によると、アパレル小売分野でのRFID導入はまだ初期段階にある。同社の推定によるとアパレル小売分野でRFIDを導入している企業は4から8パーセントに留まり、例えばGS1による過半数に達したという調査と大きく異なっている。この数字はアメリカとヨーロッパのアパレル専門の小売店を対象にしており、販売されたタグやリーダーの公開情報から推定したもの。